オペレーションズ・リサーチ基礎

線形計画問題: 双対定理の証明

塩浦昭義 東京工業大学 経営工学系 shioura.a.aa@m.titech.ac.jp

中間試験について

- 日時:2023年1月12日(木)10:45~12:15
- 場所: 授業と同じ講義室 W641
- ・手書きのA4用紙一枚のみ持ち込み可(印刷やコピーは不可)
 - ・これも採点の対象, 試験終了後に回収します
- ・教科書、ノート等の持ち込みは不可
- ・座席はこちらで指定
- 試験内容:1/5(第6回目)までの講義で教えたところ
 - ・様々な数理計画モデル
 - •線形計画問:標準形,単体法,各種定理
 - •組合せ最適化:分枝限定法
- ・50点満点, 20点以下は不合格

双対定理

定理(双対定理, duality theorem):

主問題または双対問題が最適解をもつ

⇒ 他方も最適解をもち、かつ最適値が一致する

以下では、具体例を使って証明の流れを説明する

双対定理の証明(その1)

主問題

最小化
$$-2x_1 - x_2 - x_3$$

条件 $-2x_1 - 2x_2 + x_3 \ge -4$
 $-2x_1 - 4x_3 \ge -4$
 $4x_1 - 3x_2 + x_3 \ge -1$
 $x_1 \ge 0, x_2 \ge 0, x_3 \ge 0$

初期辞書

最小化 z条件 $z = 0 - 2x_1 - x_2 - x_3$ $x_4 = 4 - 2x_1 - 2x_2 + x_3$ $x_5 = 4 - 2x_1 - 4x_3$ $x_6 = 1 + 4x_1 - 3x_2 + x_3$ $x_1 \ge 0, ..., x_6 \ge 0$

双対問題

最大化
$$-4y_1 - 4y_2 - y_3$$

条件 $-2y_1 - 2y_2 + 4y_3 \le -2$
 $-2y_1 - 3y_3 \le -1$
 $y_1 - 4y_2 + y_3 \le -1$
 $y_1 \ge 0, y_2 \ge 0, y_3 \ge 0$

- r• 主問題のスラック変数
- ・ 主問題の制約
- ・双対問題の変数 の間の1対1対応

$$x_{4} \leftarrow \rightarrow$$
 第1制約 $\leftarrow \rightarrow y_{1}$

$$x_5 \leftarrow \rightarrow$$
 第2制約 $\leftarrow \rightarrow y_2$

$$x_6 \leftarrow \rightarrow$$
 第3制約 $\leftarrow \rightarrow y_3$

双対定理の証明(その2)

主問題

最小化
$$-2x_1 - x_2 - x_3$$

条件 $-2x_1 - 2x_2 + x_3 \ge -4$
 $-2x_1 - 4x_3 \ge -4$
 $4x_1 - 3x_2 + x_3 \ge -1$
 $x_1 \ge 0, x_2 \ge 0, x_3 \ge 0$

主問題の最適解は

$$x_4$$
 x_5 x_6 $y_1^* = \frac{3}{5}, y_2^* = \frac{2}{5}, y_3^* = 0$

が双対問題の許容解,

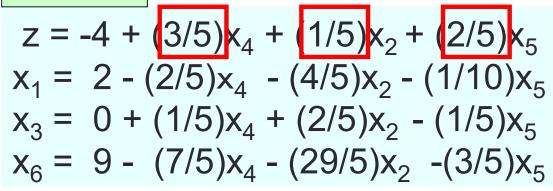
目的関数值 = -4

となることを示せば証明終了(弱双対定理の系より)

初期辞書

最小化 z条件 $z = 0 - 2x_1 - x_2 - x_3$ $x_4 = 4 - 2x_1 - 2x_2 + x_3$ $x_5 = 4 - 2x_1 - 4x_3$ $x_6 = 1 + 4x_1 - 3x_2 + x_3$ $x_1 \ge 0, ..., x_6 \ge 0$





双対定理の証明(その3)

$$X_4$$
 X_5 X_6 $y_1^* = \frac{3}{5}, y_2^* = \frac{2}{5}, y_3^* = 0$ が双対問題の許容解,目的関数値 = - 4 となることを示す

$$X_1$$
 X_2 X_3 $Y_4^* = 0, y_5^* = \frac{1}{5}, y_6^* = 0$ と便宜上おく

最終辞書

$$z = -4 + (3/5)x_4 + (1/5)x_2 + (2/5)x_5$$

$$x_1 = 2 - (2/5)x_4 - (4/5)x_2 - (1/10)x_5$$

$$x_3 = 0 + (1/5)x_4 + (2/5)x_2 - (1/5)x_5$$

$$x_6 = 9 - (7/5)x_4 - (29/5)x_2 - (3/5)x_5$$

最終辞書なので、 z の式の係数は非負 $\rightarrow y_i^*$ はすべて非負

zの式の右辺を書き換える

$$z = -4 + (y_1^* x_4 + y_5^* x_2 + y_2^* x_5) + (y_4^* x_1 + y_6^* x_3 + y_3^* x_6)$$

= -4 + y_4^* x_1 + y_5^* x_2 + y_6^* x_3 + y_1^* x_4 + y_2^* x_5 + y_3^* x_6

双対定理の証明(その4)

最終辞書

$$z = -4 + y_4^* x_1 + y_5^* x_2 + y_6^* x_3 + y_1^* x_4 + y_2^* x_5 + y_3^* x_6$$

$$x_1 = 2 - (2/5)x_4 - (4/5)x_2 - (1/10)x_5$$

$$x_3 = 0 + (1/5)x_4 + (2/5)x_2 - (1/5)x_5$$

$$x_6 = 9 - (7/5)x_4 - (29/5)x_2 - (3/5)x_5$$

(x₁,x₂,...,x₆,z)は 最終辞書の解**←→**初期辞書の解

初期辞書

$$z = 0 - 2x_1 - x_2 - x_3$$

$$x_4 = 4 - 2x_1 - 2x_2 + x_3$$

$$x_5 = 4 - 2x_1 - 4x_3$$

$$x_6 = 1 + 4x_1 - 3x_2 + x_3$$

初期辞書の4つの式を 最終辞書のzの式に代入

双対定理の証明(その5)

最終辞書のzの式

左辺 = 0 -
$$2x_1 - x_2 - x_3$$

右辺 = $-4 + \{y_1^*(4 - 2x_1 - 2x_2 + x_3) + y_2^*(4 - 2x_1 - 4x_3) + y_3^*(1 + 4x_1 - 3x_2 + x_3) \}$
 $+ (y_4^* x_1 + y_5^* x_2 + y_6^* x_3)$
 $= (-4 + 4y_1^* + 4y_2^* + y_3^*)$
 $+ (y_4^* - 2y_1^* - 2y_2^* + 4y_3^*)x_1$
 $+ (y_5^* - 2y_1^* - 3y_3^*)x_2$
 $+ (y_6^* + y_1^* - 4y_2^* + y_3^*)x_3$

この式は恒等式

任意のx₁,x₂, x₃に対して成り立つ

→両辺の各項の

係数、定数は等しい



$$0 = (-4 + 4y_1^* + 4y_2^* + y_3^*)$$

$$-2 = (y_4^* - 2y_1^* - 2y_2^* + 4y_3^*)$$

$$-1 = (y_5^* - 2y_1^* - 3y_3^*)$$

$$-1 = (y_6^* + y_1^* - 4y_2^* + y_3^*)$$

双対定理の証明(その6)

$$0 = (-4 + 4y_1^* + 4y_2^* + y_3^*) \longrightarrow -4y_1^* - 4y_2^* - y_3^* = -4$$

$$-2 = (y_4^* - 2y_1^* - 2y_2^* + 4y_3^*)$$

$$-1 = (y_5^* - 2y_1^* - 3y_3^*)$$

$$-1 = (y_6^* + y_1^* - 4y_2^* + y_3^*)$$



$$y_4^*, y_5^*, y_6^*$$
は非負なので
 $-2 \ge -2y_1^* - 2y_2^* + 4y_3^*$
 $-1 \ge -2y_1^* - 3y_3^*$
 $-1 \ge + y_1^* - 4y_2^* + y_3^*$
 (y_1^*, y_2^*, y_3^*) は
双対問題の許容解

最大化 $-4y_1 - 4y_2 - y_3$ 条件 $-2y_1 - 2y_2 + 4y_3 \le -2$ $-2y_1 - 3y_3 \le -1$ $y_1 - 4y_2 + y_3 \le -1$ $y_1 \ge 0, y_2 \ge 0, y_3 \ge 0$

双対定理の証明終わり